

02

駅構内

車輪のロックをお忘れなく!



ホームで電車を待っているとき、ちょっと手を離れた際に、ベビーカーが動いていたという経験はありませんか？

「ホームで走って行ってしまった上の子を追いかけるためにちょっと離れた際にベビーカーが動いていた。少し動いただけだったが、とてもびっくりして怖さを感じた」という体験をされたママもいます。

実は、電車のホームは線路に向かって緩やかな角度がついているのです。この角度は水勾配と違って、雨水などが流れてきたときに水がホームにたまらないように作られているのですが、一見傾きが分からない程度の傾斜のため、知らずにベビーカーから手を離してしまう方も多いようです。

ホームでは車輪のロックをかける、線路に対して並行に向けて置くなどの注意をし、ベビーカーから手を離さないようにしましょう。

ベビーカー利用のあったかエピソード

今年小学三年生になる息子がベビーカーの時代は、まだまだ電車のホームまでにエスカレーターやエレベーター等の設置率は低く、出かけるときは抱っこひもを持参、階段移動やバス乗車の前には子供を抱っこ紐で抱っこ、ベビーカーは折りたたんで肩にかけての利用でした。しかし、子供の体重が重くなり、しかも帰り道など子供が寝てしまったときは本当に困っていました。あるときJR駅の乗換で、見ず知らずの方が階段を前に途方にくれている私のベビーカーをさっと持ち上げ、下まで降ろしてくださったことがとても嬉しい出来事でした。その後は私も、ベビーカーの方が階段を利用されるときはお手伝いを申し出るようにしています。

(匿名/四十代女性)

● 昨年募集したベビーカー利用のあったかエピソードは、せたがや子育てネットホームページに掲載中です！ ●

エレベーターのない駅など、どうしても階段を使わなければならない場合には、周囲の人に助けてもらう勇気を持ちましょう。駅員さんに手伝ってもらえる場合もありますが、駅員さんの業務状況によっては手伝えない場合、しばらく待つ場合もあります。周囲の人の中にはどう手伝ってよいか分からず声をかけられないという人もいますので、「手伝っていただけますか」の一言が大事です。

困ったときに助けてもらう勇気を持つ



01

電車の乗り降り

安全なおでかけのため 知っておくこと

ベビーカーで安全におでかけするために、知っておくことで簡単に避けられるリスクがたくさんあります。安全なおでかけには「心がけること」も大切です。

時間の余裕は気持ちのゆとり

ベビーカーで出かけるときは、電車やバスを使うことも多いと思います。でも電車やバスを使うのって不安もありますよね。

電車などを使うときは、まず時間に余裕を持って出かけることが大事です。時間に余裕があれば、無理して乗らず一台待つ、という選択もできます。そうした気持ちのゆとりがあれば、おでかけも一層楽しくなります。

駆け込み乗車の危険

発車直前に電車に駆け込み、体やバッグがドアに挟まれるという状況を見たことがあると思います(経験がある方もいますよね)。その場合は一度ドアが開き、ドアがきちんと閉まってから発車したことでしょ。これだといまい危険を感じられないかもしれませんが、ところが、例えばベビーカーの車軸など、とても細いものが挟まった場合、電車のドアで感知できず、そのまま電車が発車してしまう可能性があるのです。ベビーカーをそのまま電車が動く様子を想像するとゾッとしますよね。鉄道各社でもドアの感知能力の向上や、ホームドアの設置などの取り組みを進めています。電車には駆け込まないことが第一です。

ホームでは手を離さない

電車の乗り降りでの「ありがとう」

電車やバスへの乗り降りでは周りの人に気を遣ってしまい、どうしても最後になってしまうことはありませんか。この場合、駆け込み乗車をしているわけではないのに、ドアが開まる直前に乗り込むことになり、結果として同じような危険を感じることがあります。

乗り降りの際には、あせらずに「すみません、ありがとうございます」といった声かけを周囲に行い、最後になるのを待たない乗り降りを心がけましょう(もちろん、割り込んで乗るのはダメです)。

また、「お先にどうぞ」「手伝いましょうか」という周りの方のやさしい声には、「ありがとう」と感謝の気持ちをしっかりと伝えましょう。その一言で周りの空気もガラリと変わります。